

「第 1 回地方を拠点とするクルーズ促進モデル事業」検討委員会の概要

国土交通省海事局外航課では、(公社)日本観光振興協会と共同で、令和元年 8 月 30 日に沖縄県宮古島市において、「地方を拠点とするモデル作成促進事業第 1 回検討委員会」を開催しました。

本検討委員会において、宮古島における自治体関係者、クルーズ船社、クルーズ船受入関係者が一堂に会し、宮古島観光の現状や受入環境整備状況等のプレゼンテーションの他、フライ&クルーズを通じた地方経済の活性化策や受入環境整備の課題等について意見交換が行われました。

記

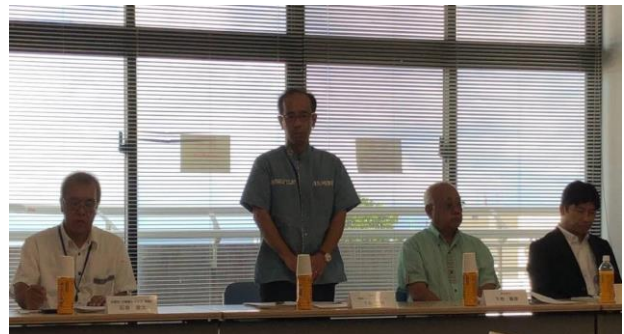
1. 日 時： 令和元年 8 月 30 日（金） 10:00～12:00
2. 場 所： 沖縄県宮古島市平良字西里 186 番地 宮古島市役所平良庁舎 3 階会議室
3. 出席者： ※別紙参照

4. 概要：

本検討委員会において、宮古島における自治体関係者、クルーズ船社、クルーズ船受入関係者が一堂に会し、宮古島観光の現状や受入環境整備状況等のプレゼンテーションの他、クルーズ船を通じた地方経済の活性化策や受け入れ環境整備の課題等について意見交換が行われました。

意見交換においては、ディスティネーションとしての魅力の向上、移動手段や宿泊施設等の受入環境整備の必要性、また満足度を向上させるための観光コンテンツの磨き上げや消費拡大につながる観光コンテンツの開発等活発な議論が行われました。

委員の方々からの意見を踏まえ、外国人インフルエンサーによるモニター調査を行い、地方発着クルーズのモデル作りを目指します。



【宮古島観光の概要について】

○宮古島市において、2028年度の観光客の満足度について目標を掲げているが、満足度を高めるには、①個人客向けものコンテンツも含めて新しい訪問先をどうつくるか、②既存のコンテンツをどう磨くかが宮古島市に求められている。

【クルーズ客向け観光コースについて】

○今後増える個人客の移動手段として、シャトルバスや既存の路線バス等の活用も重要である。

【欧米豪観光客が求める魅力ある観光コンテンツ】

○欧米豪からの観光客は、他の市場に比べて伸び率が高いため、日本にとって成長市場。また、一人あたりの消費額が高く、特に宿泊費にお金をかける傾向がある。

○欧米豪の中でも日本への訪問時期が異なり、米国は6月、豪州は冬、スペイン、イタリアはハネムナー中心のため8月。

○欧米豪市場のボリュームゾーンは、20～30代の現役ゾーン。一方で、クルーズ客となると、50代が中心。

○欧米豪の観光は、基本的にゴールドルートプラスオプションとして地方を最低3泊程度する。

○ショッピングは、旅の目的ではなく、自分や家族のために買うもの。そのため、記念になるものや実用品を好む傾向がある。

【意見交換】

○寄港地から発着港となるためには、物流網の構築、フライトや二次交通、CIQ、宿泊施設等の整備が必要となるため、環境整備を行うと膨大なコストがかかる。したがって、追加投資をせずに、既存の環境で実施可能なミニターンアラウンド(インターポーティング)から進めるべき。

○2019年3月に下地島空港も開業したため、宮古空港を含めて2つの空港を戦略的に活用できるような取り組みも必要。

○沖縄県には、クルーズ船が寄港できる港が5つもあり、そのような県はどこにもない。したがって、地域の特性を活かしたクルーズ振興をしていかなければならないため、沖縄県のクルーズ振興とは別に、宮古島の特徴を最大限に活かしたクルーズ振興を考えていかなければならない。課題を乗り越えてでも行きたいと思えるような魅力を作り出す必要がある。

○多様化する観光客に宮古島の情報をどのように発信していくかが重要。

地方を拠点とするクルーズ促進モデル事業

検討委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

<行政関係>

下地 敏彦	宮古島市長
長井 総和	国土交通省海事局外航課長
石橋 洋信	国土交通省港湾局産業港湾課長
石谷 俊史	内閣府沖縄総合事務局運輸部長
中島 靖	内閣府沖縄総合事務局開発建設部長
雉鼻 章郎	沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課長

<企業・団体等>

下地 芳郎	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長
松田 美貴	有限会社沖縄シップスエージェンシー会長兼最高経営責任者
浜岡 聡一	コスタクルーズ日本支社日本・韓国支社長
杉本 健次	株式会社JTB沖縄代表取締役社長執行役員
伴野賢太郎	下地島エアポートマネジメント株式会社代表取締役社長
新垣 盛雄	合資会社多良間海運代表社員
嶋田 和芳	一般社団法人日本外航客船協会客船事業振興委員長 (商船三井客船株式会社 常務取締役)
小堀 健一	日本トランスオーシャン航空株式会社宮古支社長
下地 康教	みなとまち宮古再生プロジェクト検討委員会幹事長
豊見山忠朗	宮古協栄バス合資会社専務
豊見山健児	一般社団法人宮古島観光協会会長
下地 隆之	宮古タクシー事業協同組合代表理事

以上